



活動名「ホタルと花と砂留と」

# 「地域の安心安全を守る砂留」



平成30年2月23日 堂々川ホタル同好会情報紙29年度14号(創刊 157号)

1. 2月18日今年初の定例会を開催、3番川原の草刈り、5番川原の橋の上を水が流れる対策とごみ拾いを行いました。散歩途中のご婦人2人が今後ごみ拾いに参加して貰えます
2. 堂々川にドローンを飛ばし空撮を実施しましたが風が強く中止になりました
3. 系列団体の砂留研究会が蜂や蛇のいない今の季節砂留調査中、御領山を終了しました
4. 堂々川の自然観察も行っています。絶滅危惧種Ⅱ類のカヤネズミの巣を発見
5. 堂々川の自然撮影の証拠は裏面に掲載しました。会員以外は希望者のみ配布します
6. 来年度の活動助成金申請をしていましたが一つ目はコメリ財団殿で決まりました
7. 写真記録で見る活動



3番川原の草刈り終了



6番砂留下の橋整備



ドローンを飛ばすが風強し



10年前の不法投棄がまだ出る



散歩時にごみを拾う人



綺麗になった鳶ヶ迫砂留の撮影



ポイ捨て防止強化を実施中



カナケ水 鉄バクテリアが分解  
今年中に新冊子発刊計画あり



山奥で住民の安心安全を守る砂留

## 8.次回の定例会は

○日時：H30年3月随時日 集合 連絡します

基本はポイ捨てと不法投棄対策

\* 会員以外の方でもホタル保護の草刈り・ゴミ拾い・彼岸花に肥料、他軽作業をします。

ご参加の方は保険に入りますのでお名前を 月 日までに事務局へ知らせてください!

\* フェイスブック・ブログに活動状況写真等を載せています

堂々川ホタル同好会 発行責任者 事務局 土肥 携帯 090-2865-3486

\* 堂々川ホタル同好会のホームページアドレス「<http://hotarunokawa.web.fc2.com/>」2年前の会報が読める

付録

① 堂々川の生き物



絶滅危惧種Ⅱ類カヤネズミの巣



日本赤ガエル 冬眠途中起きて産卵



ニホンアカガエルの卵



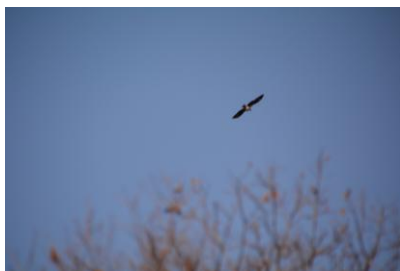
手長エビ



ヘビトンボ幼虫



大原池のヒレンジャク



ミサゴ



国分寺参道のエナガ

- ② PR 堂々川ホタル同好会は創業15年目を迎えているが会費を徴収していない。成果は大臣表彰4回、広島県景観会議大賞やひろしま環境賞を貰っているボランティア団体が活動テーマが「ホタルと花と砂留と」です。堂々川の下流域の安心安全を守る砂留を整備している。会員募集中。